

紹介目録

■ IAS「ゲーテの会」ブックレット

■ IAS塾ジュニアセミナーテキスト

～本目録は、2024年12月現在、
弊所ホームページ「交流活動資料公開」に掲載している紹介目録です～

2024
IIAS



はじめに

本小冊子は、WEB資料として編集した次のブックレットを紹介したものです。同ブックレットは、公益財団法人国際高等研究所の主催の下に、2013年8月以来開催してきた「満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」」等の講演録を基に、その講演者のご理解ご協力を得て作成したものです。

- ◆ 『けいはんな「ゲーテの会」ブックレット』
- ◆ 『けいはんなIIAS塾ジュニアセミナーテキスト』

前者は、「近代」の光と影を追いながら議論してきた市民出入り自由の哲学カフェ「ゲーテの会」に係るもので、現在進めている〈「新たな文明」の萌芽、探求を！〉プロジェクトの核となっているものです。2024年度末までの開催回数は94回を数えています。その中WEB資料としてここに公開されているのは、42冊（2024.12.01現在）です。

後者は、「ゲーテの会」等を中心に、その講演録から、18歳前後の高校生、大学生等が学ぶに相応しいテーマを選んでメインテキスト等としてブックレット化されたもので、思想文学、政治経済、科学技術の各分野にわたって、総計26冊（2024.12.01現在）がWEB資料としてここに公開されています。

引き続き、編集手続きが整い次第、順次公開して行く予定です。学生の皆さんはもとより、多くの市民の方々の学びの縁（よすが）となることを望んでいます。

これらのWEB公開資料は、次のURLからアクセスできます。

- ◆ 『けいはんな「ゲーテの会」ブックレット』
URL : <https://archive.ias.or.jp/goethe>
- ◆ 『けいはんなIIAS塾ジュニアセミナーテキスト』
URL : https://archive.ias.or.jp/junior_seminar
- ◆ 紹介目録
URL : https://archive.ias.or.jp/wp/wp-content/uploads/contents_list.pdf



2024年12月1日

公益財団法人 国際高等研究所

目次

I 分野別

- 1) 思想・文学分野 4
- 2) 政治・経済分野 7
- 3) 科学・技術分野 9
- 4) 芸術・音楽分野 11

II 著者名索引 12

III 種類別

- IIAS「ゲーテの会」ブックレット 15
- IIAS塾ジュニアセミナーテキスト 19

思想・文学分野

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
01001	高橋義人	近代科学はこのままでいいのか －ゲーテが描くもう一つの近代－	2013.8.21
01003	高橋義人 久山雄甫	現代に甦ったゲーテとエッカーマンがFUKUSHIMA について語る	2013.10.19
01004	高橋義人 久山雄甫	ゲーテとエッカーマンの語るドイツ人と日本人	2013.11.18
01008	安富 歩	合理的な神秘主義 －命を破壊する暴力についての厳密な学の構想－	2014.3.17
01012	佐伯啓思	和魂洋才の末路	2014.7.11
01015	末木文美士	伝統思想に基づいた新しい哲学を	2014.10.8
01017	笠谷和比古	伝統文化と未来社会	2014.12.4
01021	北河原公敬	菩薩の心	2015.4.3
01029	高橋義人	森鷗外と日本の個人主義	2015.11.27
01057	高橋義人	永井荷風と日本のまちづくり －日本の近代化の是非を問う－	2018.3.29
01067	佐伯順子	明治維新150年の功罪－女性の変化を中心に	2019.1.24
01077	田島正樹	無意識思想の先駆け『ライプニッツ』 －「モノドロジー」と華嚴思想との親和性を探る－	2019.12.10

思想・文学分野

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
01080	高橋義人	三島由紀夫、空っぽになってしまった日本を衝く	2020.7.21
01084	佐々木閑	仏教の核心に「靈性の自覚」を見出した 「鈴木大拙」の思索。その世界性	2020.12.1
01085	鶴見太郎	日本人の実像を求めて旅した 民俗学の祖「柳田国男」	2021.5.26
01087	澤井繁男	「伊藤整」の西欧文学「文化」受容の姿勢	2021.7.20
01088	村瀬 学	手塚治虫と「メタモルフォーゼ」 ー『ファウスト』『メトロポリス』から「人工生命 体」への地平へー	2021.9.16
01089	前田雅之	保田與重郎 「絶対平和論」への軌跡	2022.1.21
01094	竹村牧男	「自心の源底」を尋ねる ー空海生命論への一視点ー	2024.5.23
02001	佐伯啓思	夏目漱石に学ぶ ～西欧の模倣（外発的開化）を脱し、主体の確立（内発的開 化）を～	2016.3.19～ 2016.3.21
02004	高橋義人	森鷗外に学ぶ ～日本にも個人主義はありうるか～	2016.8.3～ 2016.8.5
02007	田島正樹	宮沢賢治に学ぶ ～八方ふさがりの中で「本当の幸い」を問うこと～	2017.3.25～ 2017.3.27
02010	小川晴久	三浦梅園に学ぶ ～日本と世界を救う自然哲学～	2017.8.2～ 2017.8.4
02013	佐伯啓思	西田幾多郎に学ぶ ～言語以前の世界、「純粹経験」こそ、人間行動の始源～	2018.3.24～ 2018.3.26

思想・文学分野

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
02016	田島正樹	太宰治『走れメロス』と夏目漱石『坊ちゃん』に学ぶ ～「友情」の光芒。その背景としての「政治」性～	2018.8.8～ 2018.8.10
02019	新保祐司	内村鑑三に学ぶ ～今に光彩を放つ「明治の精神」～	2019.3.23～ 2019.3.25
02022	安部 浩	和辻哲郎に学ぶ ～人類の未来は、人間存在の「共同性」と「個人性」の統合の自覚にあり～	2019.8.7～ 2019.8.9
02025	長谷川櫂	松尾芭蕉の世界を探求する ～古池に蛙は飛びこんだか松尾芭蕉の名句の真相～	2021.3.24.～3.25 2021.8.3～8.4

政治・経済分野

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
01010	唐沢 敬	ディストピア化する世界 ー求められる新しい世界統治システムの構築ー	2014.5.15
01013	唐沢 敬	ディストピア化する世界Part2 ー求められる新しい世界統治システムの構築ー	2014.8.22
01018	猪木武徳	教育・研究における事実(fact)と想像(fancy)	2015.1.6
01019	藻谷浩介	けいはんな学研都市の未来をいかに拓くか	2015.2.5
01064	猪木武徳	島崎藤村「夜明け前」から見た明治維新	2018.10.23
01083	澤井繁男	shouldの世界とhow toの世界を問う。 統治理論の探究者『ニッコロ・マキユヴェッリ』	2020.11.5
01092	瀧井一博	岩倉使節団150年を機に「日本文明」の再興を考 える ー受容する文明から需要ある文明へー	2023.05.12
02002	猪木武徳	福沢諭吉に学ぶ ～デモクラシーの基盤としての公智と公德～	2016.3.19～ 2016.3.21
02005	瀧井一博	伊藤博文に学ぶ ～「憲法政治」への道。「協働の憲法学」を、今～	2016.8.3～ 2016.8.5
02008	伊藤之雄	原敬に学ぶ ～公利（公益）に向かって、社会の秩序形成を。だが、それ は、私利（怨念）を超えてこそ。～	2017.3.25～ 2017.3.27
02011	筒井清忠	北一輝に学ぶ ～アジア主義からの人類解放の思想 その構想と挫折～	2017.8.2～ 2017.8.4
02014	猪木武徳	石橋湛山に学ぶ ～思考の枠組みとしての「理論」、生きた現実に立ち向かう 「政策」～	2018.3.24～ 2018.3.26

政治・経済分野

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
02020	宮本又郎	渋沢栄一・五代友厚に学ぶ ～経済は道徳に不可欠であり、道徳は経済に不可欠である。～	2019.3.23～ 2019.3.25
02023	鎌田東二	「二宮尊徳」に学ぶ ～災害多発時代を生き抜く知恵と力～ —自(おの)ずから(天道)と自(みずか)ら(人道)の交響—	2019.8.7～ 2019.8.9
02026	足立幸男	「民主主義」の現代的意義を考える ～公共政策規範としての「将来世代に対する責任」～	2021.3.24.～3.25 2021.8.3～8.4

科学・技術分野

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
01005	尾池和夫	大地を造る力	2013.12.18
01006	蔵本由紀	自己組織化するリズム	2014.1.16
01007	池内 了	トランスサイエンス時代の科学のあり方	2014.2.15
01009	池内 了	これからの科学のあり方と地下資源文明の転換期について	2014.4.16
01014	山極壽一	サル化する人間社会	2014.9.8
01020	嘉田由紀子	リスク社会を生き抜く日本人の災害文化 ーリスク社会を生き抜く日本人の災害文化ー	2015.3.5
01024	松田 清	儒医山本亡羊とオジギソウ ー本草博物学から文理融合を考えるー	2015.7.2
01078	斎藤成也	ゲノム解析から探るヤポネシア人の起源と成立	2020.1.16
01082	古川 安	「応用をやるなら基礎をやれ」化学者たちの京都学派 ー福井謙ーをはじめとする喜多源逸の後継者たちー	2020.10.2
01086	森谷寛之	フロイトと並ぶ深層心理学の開拓者「ユング」	2021.6.25
01090	高瀬正仁	世界的数学者にして教育者、随筆家。 人間と学問の在り方を論じる「岡潔」	2022.2.17
01093	長谷川真理子	人類の進化から見たヒトの文明と「人新世」	2024.1.23

科学・技術分野

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
02003	池内 了	寺田寅彦に学ぶ ～科学者の先見性と文理融合の世界～	2016.3.19～ 206.3.21
02006	佐藤文隆	湯川秀樹に学ぶ(第Ⅰ部・第Ⅱ部) ～科学(者)の輝きは社会の中でこそ。その価値を社会的共有に～	2016.8.3～ 2016.8.5
02009	松居竜五	南方熊楠に学ぶ ～すべてのものごととはつながっている。この世界を一つながりのものとしてとらえる「知」のあり方を模索することの重要性に気づかなければならない。～	2017.3.25～ 2017.3.27
02012	鈴木一義	田中久重に学ぶ ～豊かな未来を創る 市民の技術(civil engineering)～	2017.8.2～ 2017.8.4
02015	岩槻邦男	小野蘭山に学ぶ ～日本文化の源泉は、心の奥底の「自然とのふれあい」に～	2018.3.24～ 2018.3.26
02021	木下タロウ	緒方洪庵に学ぶ ～唯おのれを捨てて 人を救わんことを希うべし～	2019.3.23～ 2019.3.25
02024	森 孝之	北里柴三郎に学ぶ ～医道は、真理の根源に迫り実用に転換するにあり～	2019.8.7～ 2019.8.9
02027	山崎正勝	原子力開発の過去・現在を考える ～日本の「原子力開発」を推進した人々の構想力～	2021.3.24.～3.25 2021.8.3～8.4
02030	池内 了	司馬江漢に学ぶ ～「文化」を創造する好奇心が豊かな人間に！～	2022.3.26～3.28 2022.8.2～8.4

芸術・音楽分野

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
01036	筒井清忠	西條八十と昭和時代(上)	2016.6.20
01038	稲賀繁美	天心・岡倉覚三	2016.8.18
01040	筒井清忠	西條八十と昭和時代(下)	2016.10.17
01069	村田晃嗣	アメリカ大統領とハリウッド —政治と文化(映画)の関係を探る—	2019.3.19

著者名索引

あ

- 足立幸男 vol.02026
 安部 浩 vol.02022

い

- 伊藤之雄 vol.02008
 池内 了 vol.01007、vol.01009、vol.02003、vol.02030
 稲賀繁美 vol.01038
 猪木武徳 vol.01018、vol.01064、vol.02002、vol.02014
 岩槻邦男 vol.02015

お

- 尾池和夫 vol.01005
 小川晴久 vol.02010

か

- 笠谷和比古 vol.01017
 嘉田由紀子 vol.01020
 鎌田東二 vol.02023
 唐沢 敬 vol.01020、vol.01013

き

- 北河原公敬 vol.01021
 木下タロウ vol.02021

く

- 蔵本由紀 vol.01006

さ

- 斎藤成也 vol.01078
 佐伯啓思 vol.01012、vol.02001、vol.02013
 佐伯順子 vol.01067
 佐々木閑 vol.01084
 佐藤文隆 vol.02006
 澤井繁男 vol.01083、vol.01087

著者名索引

し

新保祐司 vol.01044

す

末木文美士 vol.01015

鈴木一義 vol.02012

た

高瀬正仁 vol.01090

高橋義人 vol.01001、 vol.01003、 vol.01004、 vol.01029
 vol.01057、 vol.01080、 vol.02004

瀧井一博 vol.01092、 vol.02005

竹村牧男 vol.01094

田島正樹 vol.01077、 vol.02007、 vol.02016

つ

筒井清忠 vol.01036、 vol.01040、 vol.02011

鶴見太郎 vol.01085

は

長谷川 權 vol.02025

長谷川 眞理子 vol.01093

ひ

久山雄甫 vol.01003、 vol.01004

ふ

古川 安 vol.01082

ま

松田 清 vol.01024

前田雅之 vol.01089

松居竜五 vol.02009

著者名索引

み

宮本又郎 vol.02020

む

村瀬学 vol.01088

村田晃嗣 vol.01069

も

藻谷浩介 vol.01019

森 孝之 vol.02024

森谷寛之 vol.01086

や

安富 歩 vol.01008

山極壽一 vol.01014

山崎正勝 vol.02027

IIAS「ゲーテの会」ブックレット

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
01001	高橋義人	近代科学はこのままでいいのか ーゲーテが描くもう一つの近代ー	2013.8.21
01003	高橋義人 久山雄甫	現代に甦ったゲーテとエッカーマンがFUKUSHIMA について語る	2013.10.19
01004	高橋義人 久山雄甫	ゲーテとエッカーマンの語るドイツ人と日本人	2013.11.18
01005	尾池和夫	大地を造る力	2013.12.18
01006	蔵本由紀	自己組織化するリズム	2014.1.16
01007	池内 了	トランスサイエンス時代の 科学のあり方	2014.2.15
01008	安富 歩	合理的な神秘主義 ー命を破壊する暴力についての厳密な学の構想ー	2014.3.17
01009	池内 了	これからの科学のあり方と 地下資源文明の転換期について	2014.4.16
01010	唐沢 敬	ディストピア化する世界 ー求められる新しい世界統治システムの構築ー	2014.5.15
01012	佐伯啓思	和魂洋才の末路	2014.7.11
01013	唐沢 敬	ディストピア化する世界Part2 ー求められる新しい世界統治システムの構築ー	2014.8.22
01014	山極壽一	サル化する人間社会	2014.9.8

IIAS「ゲーテの会」ブックレット

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
01015	末木文美士	伝統思想に基づいた新しい哲学を	2014.10.8
01017	笠谷和比古	伝統文化と未来社会	2014.12.4
01018	猪木武徳	教育・研究における事実(fact)と想像(fancy)	2015.1.6
01019	藻谷浩介	けいはんな学研都市の未来をいかに拓くか	2015.2.5
01020	嘉田由紀子	リスク社会を生き抜く日本人の災害文化 ーリスク社会を生き抜く日本人の災害文化ー	2015.3.5
01021	北河原公敬	菩薩の心	2015.4.3
01024	松田清	儒医山本亡羊とオジギソウ ー本草博物学から文理融合を考えるー	2015.7.2
01029	高橋義人	森鷗外と日本の個人主義	2015.11.27
01036	筒井清忠	西條八十と昭和時代 (上)	2016.6.20
01038	稲賀繁美	天心・岡倉覚三	2016.8.18
01040	筒井清忠	西條八十と昭和時代 (下)	2016.10.17
01057	高橋義人	永井荷風と日本のまちづくり ー日本の近代化の是非を問うー	2018.3.29

IIAS「ゲーテの会」ブックレット

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
01064	猪木武徳	島崎藤村「夜明け前」から見た明治維新	2018.10.23
01067	佐伯順子	明治維新150年の功罪—女性の変化を中心に	2019.1.24
01069	村田晃嗣	アメリカ大統領とハリウッド-政治と文化(映画)の 関係を探る-	2019.3.19
01077	田島正樹	無意識思想の先駆け『ライプニッツ』—「モノドロ ジー」と華厳思想との親和性を探る	2019.12.10
01078	斎藤成也	ゲノム解析から探るヤポネシア人の起源と成立	2020.1.16
01080	高橋義人	三島由紀夫、空っぽになってしまった日本を衝く	2020.7.21
01082	古川 安	「応用をやるなら基礎をやれ」化学者たちの京都学派 —福井謙一をはじめとする喜多源逸の後継者たち—	2020.10.2
01083	澤井繁男	shouldの世界とhow toの世界を問う。統治理論の探 究者『ニコロ・マキユヴェッリ』	2020.11.5
01084	佐々木閑	仏教の核心に「霊性の自覚」を見出した「鈴木大 拙」の思索。その世界性	2020.12.1
01085	鶴見太郎	日本人の実像を求めて旅した民俗学の祖「柳田国 男」	2021.5.26
01086	森谷寛之	フロイトと並ぶ深層心理学の開拓者「ユング」	2021.6.25
01087	澤井繁男	「伊藤整」の西欧文学「文化」受容の姿勢	2021.7.20

IIAS「ゲーテの会」ブックレット

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
01088	村瀬 学	手塚治虫と「メタモルフォーゼ」ー『ファウスト』	2021.9.16
01089	前田雅之	保田與重郎「絶対平和論」への軌跡	2022.1.21
01090	高瀬正仁	世界的数学者にして教育者、随筆家。 人間と学問の在り方を論じる「岡潔」	2022.2.17
01092	瀧井一博	岩倉使節団150年を機に「日本文明」の再興を考 える ー受容する文明から需要ある文明へー	2023.5.12
01093	長谷川真理子	人類の進化から見たヒトの文明と「人新世」	2024.1.23
01094	竹村牧男	「自心の源底」を尋ねる ー空海生命論への一視点ー	2024.5.23

IIAS塾ジュニアセミナーテキスト

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
02001	佐伯啓思	夏目漱石に学ぶ ～西欧の模倣（外発的開化）を脱し、主体の確立（内発的開化）を～	2016.3.19～ 2016.3.21
02002	猪木武徳	福沢諭吉に学ぶ ～デモクラシーの基盤としての公智と公德～	2016.3.19～ 2016.3.21
02003	池内 了	寺田寅彦に学ぶ ～科学者の先見性と文理融合の世界～	2016.3.19～ 2016.3.21
02004	高橋義人	森鷗外に学ぶ ～日本にも個人主義はありうるか～	2016.8.3～ 2016.8.5
02005	瀧井一博	伊藤博文に学ぶ ～「憲法政治」への道。「協働の憲法学」を、今～	2016.8.3～ 2016.8.5
02006	佐藤文隆	湯川秀樹に学ぶ（第Ⅰ部・第Ⅱ部） ～科学（者）の輝きは社会の中でこそ。その価値を社会的共有に～	2016.8.3～ 2016.8.5
02007	田島正樹	宮沢賢治に学ぶ ～八方ふさがりの中で「本当の幸い」を問うこと～	2017.3.25～ 2017.3.27
02008	伊藤之雄	原敬に学ぶ ～公利（公益）に向かって、社会の秩序形成を。だが、それは、私利（怨念）を超えてこそ。～	2017.3.25～ 2017.3.27
02009	松居竜五	南方熊楠に学ぶ ～すべてのものごととはつながっている。この世界を一つながりのものとしてとらえる「知」のあり方を模索することの重要性に気づかなければならない。～	2017.3.25～ 2017.3.27
02010	小川晴久	三浦梅園に学ぶ ～日本と世界を救う自然哲学～	2017.8.2～ 2017.8.4
02011	筒井清忠	北一輝に学ぶ ～アジア主義からの人類解放の思想 その構想と挫折～	2017.8.2～ 2017.8.4
02012	鈴木一義	田中久重に学ぶ ～ 豊かな未来を創る 市民の技術（civil engineering）～	2017.8.2～ 2017.8.4

IIAS塾ジュニアセミナーテキスト

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
02013	佐伯啓思	西田幾多郎に学ぶ ～言語以前の世界、「純粹経験」こそ、人間行動の始源～	2018.3.24～ 2018.3.26
02014	猪木武徳	石橋湛山に学ぶ ～思考の枠組みとしての「理論」、生きた現実に立ち向かう「政策」～	2018.3.24～ 2018.3.26
02015	岩槻邦男	小野蘭山に学ぶ ～日本文化の源泉は、心の奥底の「自然とのふれあい」に～	2018.3.24～ 2018.3.26
02016	田島正樹	太宰治『走れメロス』と夏目漱石『坊ちゃん』に学ぶ ～「友情」の光芒。その背景としての「政治」性～	2018.8.8～ 2018.8.10
02019	新保祐司	内村鑑三に学ぶ ～今に光彩を放つ「明治の精神」～	2019.3.23～ 2019.3.25
02020	宮本又郎	渋沢栄一・五代友厚に学ぶ ～経済は道徳に不可欠であり、道徳は経済に不可欠である。～	2019.3.23～ 2019.3.25
02021	木下タロウ	緒方洪庵に学ぶ ～唯おのれを捨てて人を救わんことを希うべし～	2019.3.23～ 2019.3.25
02022	安部 浩	和辻哲郎に学ぶ ～人類の未来は、人間存在の「共同性」と「個人性」の統合の自覚にあり～	2019.8.7～ 2019.8.9
02023	鎌田東二	「二宮尊徳」に学ぶ ～災害多発時代を生き抜く知恵と力ー 自(おの)ずから(天道)と自(みずか)ら(人道)の交響ー	2019.8.7～ 2019.8.9
02024	森 孝之	北里柴三郎に学ぶ ～ 医道は、真理の根源に迫り実用に転換するにあり～	2019.8.7～ 2019.8.9
02025	長谷川權	松尾芭蕉の世界を探求する ～ 古池に蛙は飛びこんだか松尾芭蕉の名句の真相～	2021.3.24～3.25 2021.8.3～8.4
02026	足立幸男	「民主主義」の現代的意義を考える ～公共政策規範としての「将来世代に対する責任」～	2021.3.24～3.25 2021.8.3～8.4

IIAS塾ジュニアセミナーテキスト

vol番号	著作者	タイトル	備考(開催日)
02027	山崎正勝	原子力開発の過去・現在を考える ～日本の「原子力開発」を推進した人々の構想力～	2021.3.24～3.25 2021.8.3～8.4
02030	池内 了	司馬江漢に学ぶ ～「文化」を創造する好奇心が豊かな人間に！～	2018.3.24～ 2018.3.26